

第1回 千歳川流域水害対策協議会 議事概要

日 時：令和5年10月30日 10:00～10:40

場 所：恵庭市民会館（WEB 会議併用）

出席者：柿崎 恒美（北海道開発局 局長）

小林 幹男（北海道開発局 札幌開発建設部 部長）

白石 俊哉（代理）（北海道 建設部 部長）

南里 智之（北海道 空知総合振興局 副局長（建設管理部担当））

後藤 好人（江別市 市長）

横田 隆一（千歳市 市長）

原田 裕（恵庭市 市長）

水口 真（代理）（北広島市 副市長）

大崎 貞二（南幌町 町長）

齋藤 良彦（長沼町 町長）

山田 巳弘（代理）（林野庁 北海道森林管理局 石狩森林管理署 次長）Web 参加

武森 美紀男（林野庁 北海道森林管理局 空知森林管理署 署長）Web 参加

高倉 正純（代理）（財務省 北海道財務局 管財部 第2統括国有財産管理官）

Web 参加

福井 智之（環境省 北海道地方環境事務所 次長）Web 参加

室井 ちあし（気象庁 札幌管区気象台 台長）

宮田 寛（千歳川治水対策促進連合期成会 会長）

<議事>

○千歳川特定都市河川指定の経緯・千歳川流域水害対策協議会の規約について

- ・千歳川流域水害対策協議会の規約について承認された。
- ・規約第3条第4項に則り、会長である北海道開発局長より、札幌開発建設部長が座長に指名された。

○千歳川流域水害対策計画の策定について

- ・座長：千歳川流域水害対策計画目次案の第2章第3節の「計画区域」とは、千歳川特定都市河川流域もしくは千歳川流域のどちらが正しいか。
- ・事務局：「計画区域」は、雨水が流出してくる範囲や氾濫が及ぶ区域、下水道の集水域を踏まえた千歳川特定都市河川流域が正しい。

○千歳川流域水害対策計画策定までの流れについて

・座長：規約における部会の位置づけについて、設置にあたっては事務局が必要に応じて判断するのか。

・事務局：規約第 5 条第 8 項に「幹事会は、必要に応じて部会を設置することができる。」と定めており、幹事会での判断となる。

○全体を通して

・恵庭市長：第 1 回目の流域水害対策協議会が開催されたことを感慨深く思っている。

今年の 8 月末に千歳川流域の 35 河川が北海道で初めて特定都市河川に指定がされ、流域全体を水害から守るという取り組みとして大変嬉しく思っている。これまでも河川整備の加速化の要望をあげているところであり、流域治水の取り組みとともに河川整備の進捗が我々住民の安心を生むということになるので、改めてお願いします。特定都市河川に指定されたということは流域の安全性が増すということに繋がるので、引き続き、国、北海道の支援、協力をお願いしたい。

・千歳川治水対策促進連合期成会長：千歳川流域はこれまで大きな洪水被害に幾度も見舞われており、最近でも、平成 26 年と平成 28 年の豪雨により、流域上流部での大規模土砂災害、市街地や農地の冠水被害などが発生し、洪水の影響を受け続けた。一方で、令和 2 年度に遊水地群が供用を開始する等、治水対策の進展による効果が現れている。特に、河川水位の低下、排水性の向上、土地改良事業の進展によって、高収益作物の栽培が可能になり、農家所得が向上するなど、農業の生産基盤が強化されたことについては、厚くお礼申し上げる。

しかしながら、千歳川流域の堤防整備が途中段階であり、完成までに時間を要するなか、地元としては全国的に災害が激甚化している現状もあり不安を抱えている。千歳川などの 35 河川及び千歳川流域が、特定都市河川及び流域に指定されたことにより今後、千歳川河川整備事業が一日も早く完成されることを期待している。

以上